



# 門川町立草川小学校 校長室便り

令和6年度 第8号  
令和6年11月12日

絶対に油断しません・・・

私たち職員が日頃から危機管理のアンテナを高くもっている一つが「不審者侵入」への対応です。

記憶されている方も多いと思いますが、今から23年前、2001年6月8日に大阪府の池田小学校で無差別殺傷事件が起きました。児童8名が亡くなり、児童13名と教員2名がけがをしました。ものすごい衝撃でした。当時、私は2年生の担任をしていて、不審者侵入に対する恐怖心を抱いたことを鮮明に覚えています。

あの事件以降、学校では、昼間の入口を制限したり、門を全て閉めたり、警備員を配置したりする対応が行われました。

あれから、20年超、だんだんと危機感が薄れていっている気がします。当時の事件を覚えている先生方も少なくなりました。

草川小学校は、地域の方々の見守りが強いため、事件が起こる心配は少ないかもしれません、これだけ外部にオープンになり、昼間、誰でも自由に教室に入り出しができる環境になっています。

11月6日（水）、「不審者対応」の避難訓練を実施しました。

いざという時に、子どもたちの命を守るために、児童よりも先生方にとって、非常によい訓練ができたと思います。特に、不審者役の杉先生、それを取り押さえる男性職員の演技は、鬼気迫るものがあり、恐怖を感じるほど迫真の演技でした。

不審者を取り押された後は、全員運動場に避難しました。そこで私は、池田小学校の事件の話をし、「二度と池田小学校のような事件は起こしてはならない」と話しました。児童の目も先生方の目もとても真剣でした。

「災害は忘れた頃にやってくる」と言います。

私たち職員は、不審者侵入への対応について、常に危機感をもち、絶対に油断してはなりません。



絵画の指導力がすごいチーム草川

運動会の練習と並行しながら、各学級では、読書感想画に取り組んできました。

草川小学校の先生方は、絵画指導について自主研修を行うほど熱心で、絵画チーム草川です。

そして、できあがった作品を鑑賞させてもらうと、見事な作品ばかりです。

構図もよく考えられ、色もかなり塗り込まれています。読書感想画では、人物の色は、全くの空想で構いません。子どもたちは、本から自由に想像した場面を発想豊かに、素敵な色彩で描いていました。

11月22日の参観日には、ぜひ全ての学年の絵を鑑賞していただけたらと思います。また、地域の方々も、いつでもいいですので、草川小美術館を見に来ていただきたいと思います。

ちなみに納得の結果ですが、東臼杵郡の読書感想画コンクールは、本校の出展作品が、入賞を総なめ状態でした。現在は、たくさんの作品が県のコンクールにあがり審査結果を待っているところです。先生方の熱心な指導の賜です。

【連載】小学校の先生「あるある」

- 買い物に出かけ、スポーツ用のシャツやジャージが目にいると気になってしまう。特に、誰かが持っていた物や新作、値引き品に弱く、つい買ってしまうことがあり、所持数がどんどん増えていってしまう。
- 勤務した先々で、その学校のユニフォームシャツを買う。それが意外に長持ちして重宝する。その結果、学校にはいろんな学校のユニフォームを着た職員がいる。



充実している草川小HPへ  
ぜひ、毎日閲覧してくださいね。